

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書（Web 公開用）

申請者（ふりがな）	Zhang, Zichen（ちょう ししん）
所属・資格（※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載）	修士課程 M2
発表年月 または事業開催年月	2025年09月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本建築学会大会（九州）
発表者（※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること）	Zhang, Zichen、松尾 綾子、小島 隆矢
発表題目（※学会発表の場合のみ記載）	クリエイティブイベントに関する参加者の意識と行動 その1 定型自由記述式調査に基づく創作者と一般参加者の評価構造の把握
発表・活動・開催の概要と成果（学会発表の場合、抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。）	
概要 対象：2024 年 12 月に実施されたクリエイティブイベント（CREV）参加者への Web 調査（有効回答 90 件）。 方法：一般参加者・クリエイター双方に対し、CREV における満足点・不満点や実施したい活動を自由記述式で収集。計 2,611 件の記述を KJ 法で分類し、評価構造を作成・分析。 目的：CREV の現状把握と今後の発展に向けた基礎資料を得ること。 主な成果 一般参加者 満足要因：「多なイベント内容」「交流」「雰囲気」など。 不満要因：参加人数による「過密状態」や運営に関わる「スケジュール設計の不適切さ」など。 クリエイター 満足要因：「ファン交流」「作品頒布」が中心。「ファン交流」を通じた直接的なフィードバックが一般参加者とクリエイター双方の創作意欲を刺激し、創作の循環を形成する。 不満要因：顕著な項目は少ないが、「客の奪い合い」など競争環境への不満が見られる。 共通点と相違点 共通点：「交流」が双方にとって重要。運営面（混雑、スケジュール）への不満も共通。 相違点：一般参加者は多面的な満足要因を持ち、クリエイターは交流・頒布に集中。 意義 - CREV は娯楽と教育価値を融合した文化装置として機能。 - 参加者とクリエイターの相互作用が創作の好循環を生み出す。 - 課題解決には「参加体験の質向上」と「創作支援」の両立が必要。 - 今後は定量的調査による因果関係の検証を予定。	